

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年5月23日(2013.5.23)

【公開番号】特開2011-212348(P2011-212348A)

【公開日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-043

【出願番号】特願2010-84681(P2010-84681)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月12日(2013.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技パネルと、

前記遊技パネルの後方に、前記遊技パネルの中央の開口部を通して視認可能に配置された液晶表示装置と、

前記遊技パネルと前記液晶表示装置に配置され、前方及び後方が開口された箱状の裏ユニットと、

前記裏ユニットの内部に配設された可動装飾体ユニットと、

を有した遊技機であって、

前記可動装飾体ユニットは、

遊技領域の両側後方に対応した前記裏ユニットの内部の左右の両側で、正面視において前記遊技パネルの中央の開口部と重ならない位置に、それぞれ配設された左右の昇降駆動機構と、

前記左右の昇降駆動機構の間に亘って配置され、前記左右の昇降駆動機構により、収納位置と前記液晶表示装置の前方に位置する作動位置との間で昇降可能とされた昇降部材と、を有し、

前記昇降ベースは、

左右の前装飾体と、

前記左右の前装飾体の背後にそれぞれ配置され、前後方向の軸によって回動自在に軸支された左右の後可動装飾体と、

駆動モータと、

前記左右の後可動装飾体に対して、前記駆動モータの回転力を伝達する回転動力伝達機構と、

前記左右の後可動装飾体と前記昇降ベースとに亘って配置されるバネ部材と、を備え、

前記駆動モータは、前記回転動力伝達機構を介して、前記後可動装飾体を、前記前装飾体と重なる隠匿位置と、前記前装飾体と重ならない出現位置との間を駆動し、

前記バネ部材は、前記後可動部材が前記隠匿位置から前記出現位置へ回動する際には、前記後可動装飾体が上昇する回転方向に付勢力を与え、前記後可動部材が前記出現位置から前記隠匿位置に回動する際には、重力によって巻き込まれる

ことを特徴とする遊技機。